

就業状態等基本集計

(1)概況

(2)大都市

(3)労働力率

(4)行政区別

(5)地位別

(6)産業別

(7)職業別

(8)外国人

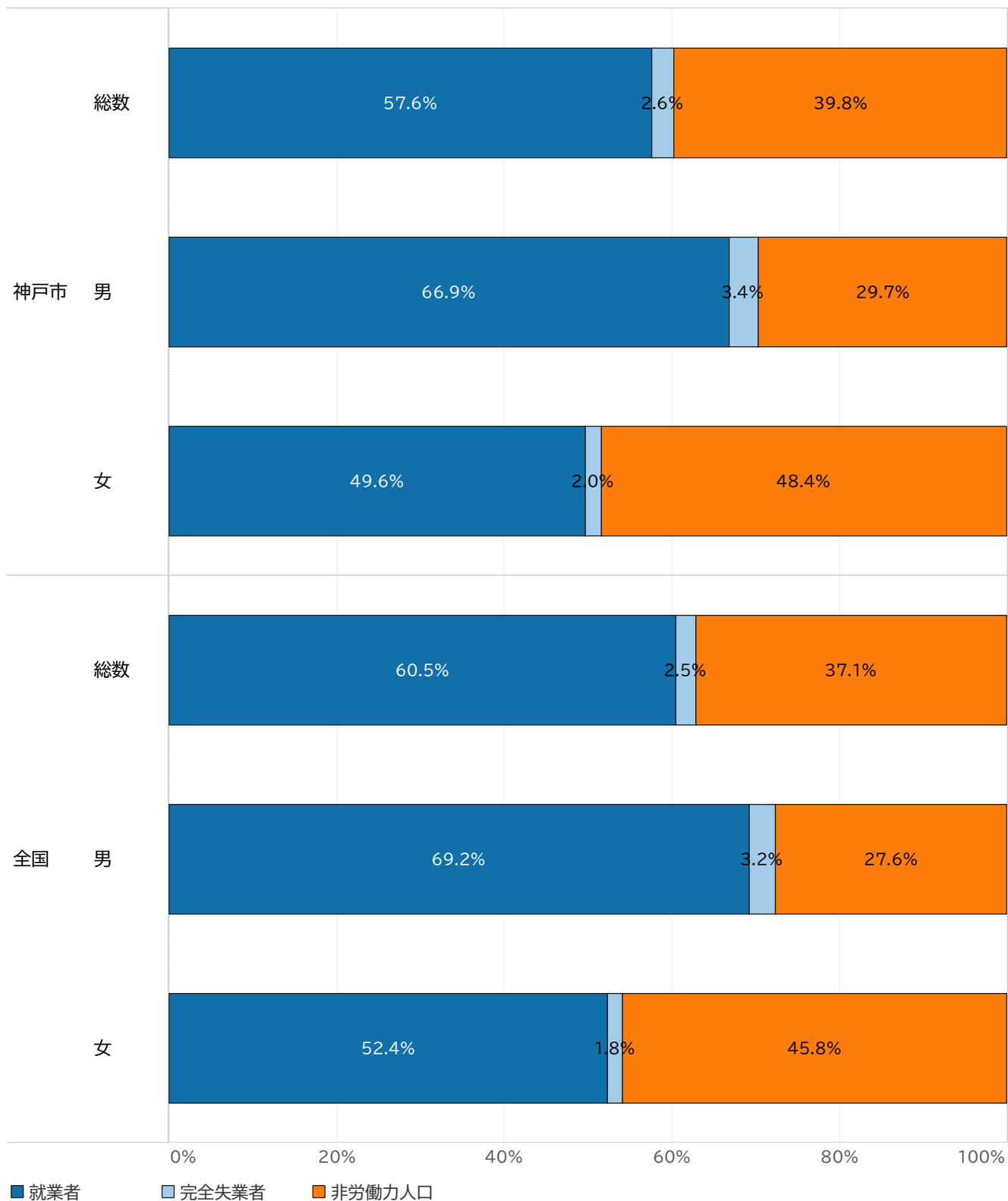
労働力率(※)は、全国と比べ2.9%ポイント低い

2020年国勢調査における神戸市の労働力人口は760,317人(男性408,780人、女性351,537人)。

労働力率は60.2% (男性70.3%女性51.8%) であり、全国と比べ男女ともに低い。

※労働力率：15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）に占める労働力人口（就業者+完全失業者）の割合

15歳以上人口の労働力状態



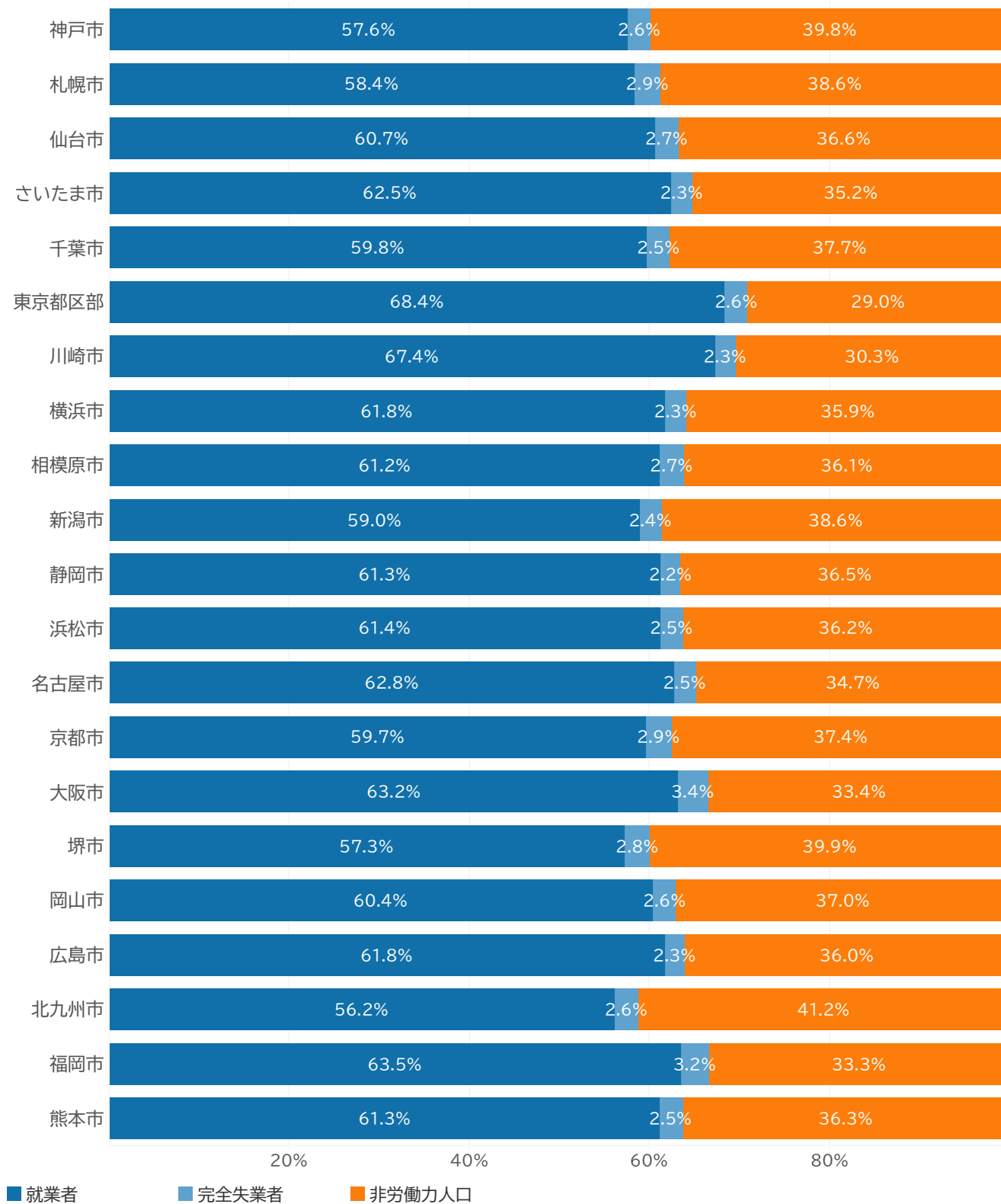
就業状態等基本集計

(1)概況 (2)大都市 (3)労働力率 (4)行政区別 (5)地位別 (6)産業別 (7)職業別 (8)外国人

全国21大都市中3番目に労働力率が低い

全国の21大都市で労働力率を比較すると、最も高いのは東京都区部の71.0%で、最も低いのは北九州市の58.8%となっている。

大都市別 15歳以上人口の労働力状態



就業状態等基本集計

(1)概況

(2)大都市

(3)労働力率

(4)行政区別

(5)地位別

(6)産業別

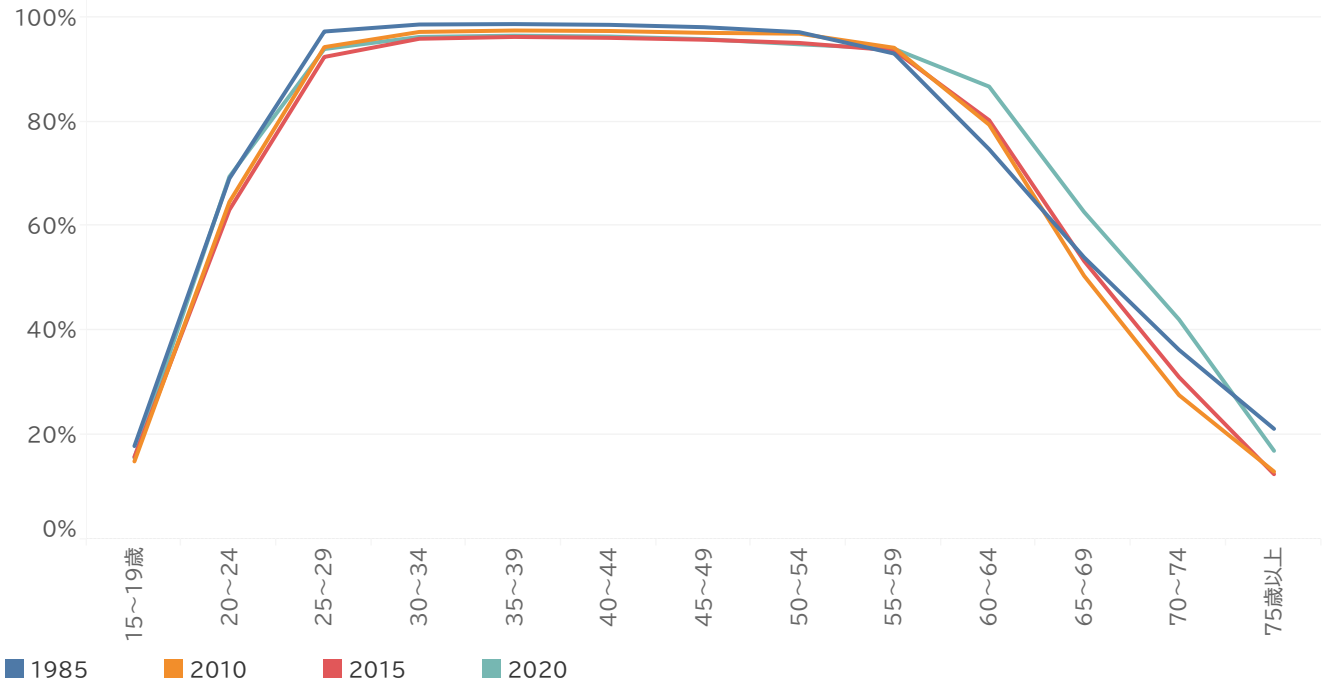
(7)職業別

(8)外国人

60歳以上の労働力率が上昇傾向

神戸市における男性の年齢別労働力率をみると、前回の調査から最も上昇しているのは70~74歳で11.0%ポイント、次いで65~69歳で9.4%ポイント、60~64歳で6.4%ポイントの上昇となっている。

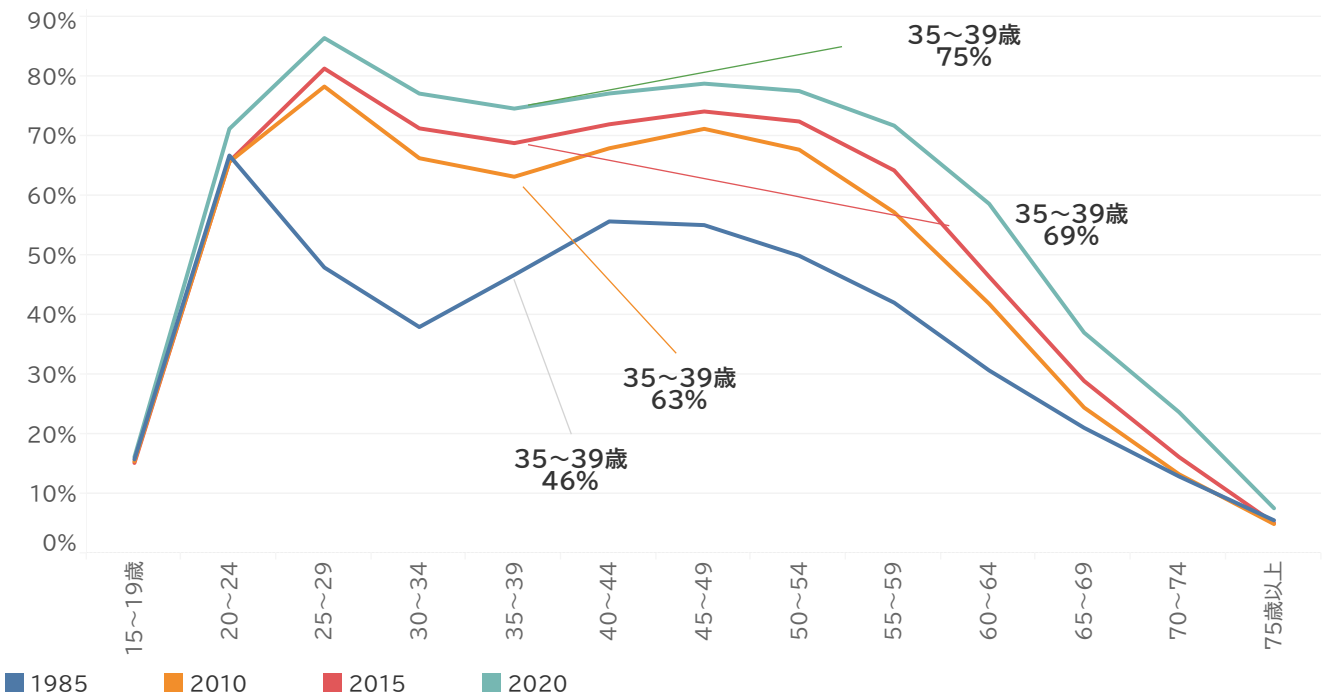
神戸市年齢(5歳階級)別労働力率(男性)



M字カーブが解消傾向

神戸市における女性の年齢別労働力率をみると、前回の調査から全ての年齢において上昇している。

神戸市年齢(5歳階級)別労働力率(女性)



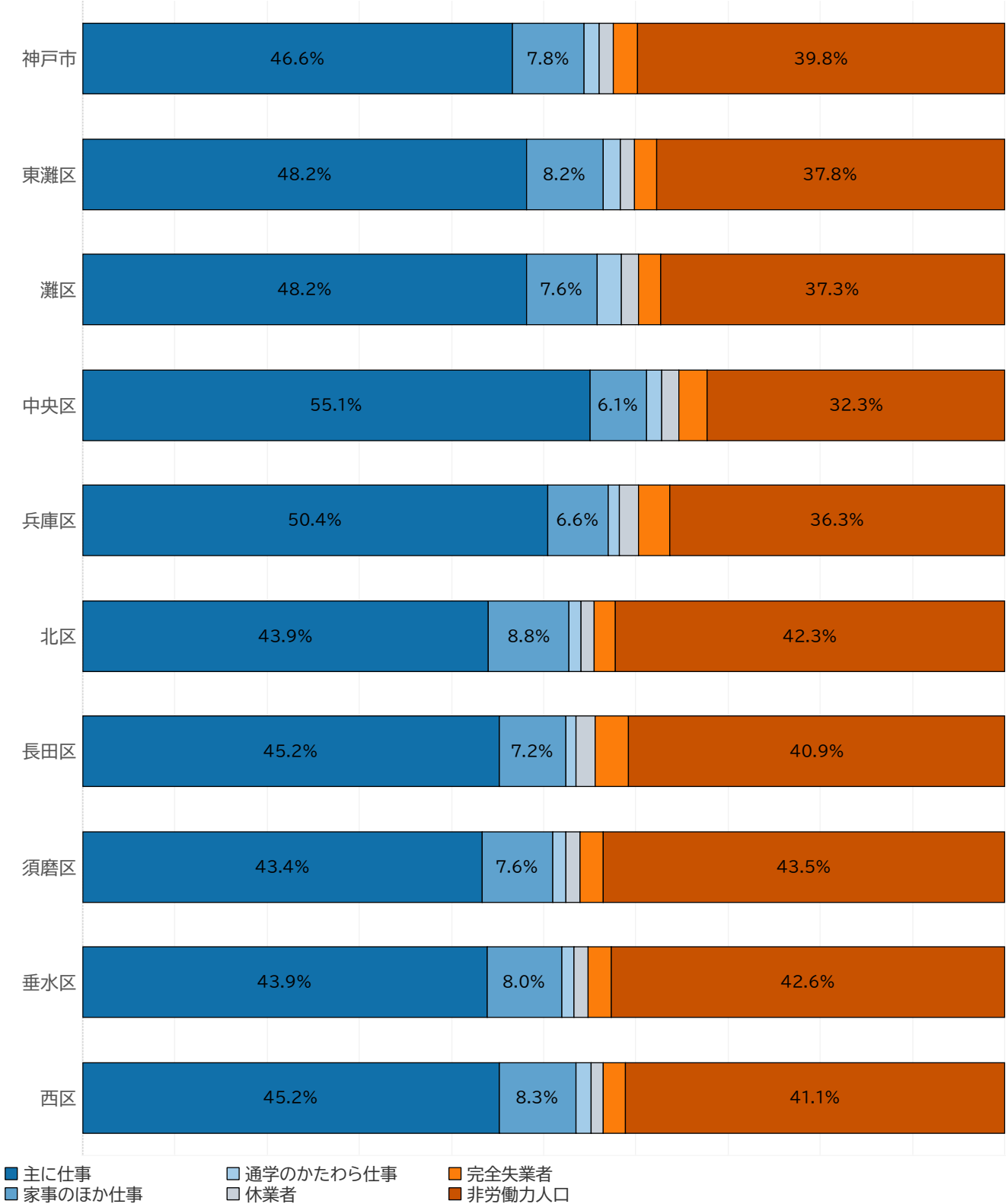
就業状態等基本集計

(1)概況 (2)大都市 (3)労働力率 (4)行政区別 (5)地位別 (6)産業別 (7)職業別 (8)外国人

労働力率は、中央区が最も高く、須磨区が最も低い

区別で見ると、須磨区(56.5%)、垂水区(57.4%)、北区(57.7%)、西区(58.9%)、長田区(59.1%)、東灘区(62.2%)、灘区(62.7%)、兵庫区(63.7%)、中央区(67.7%)の順で、労働力率が高くなっている。

15歳以上労働力人口の労働力状態(区別)



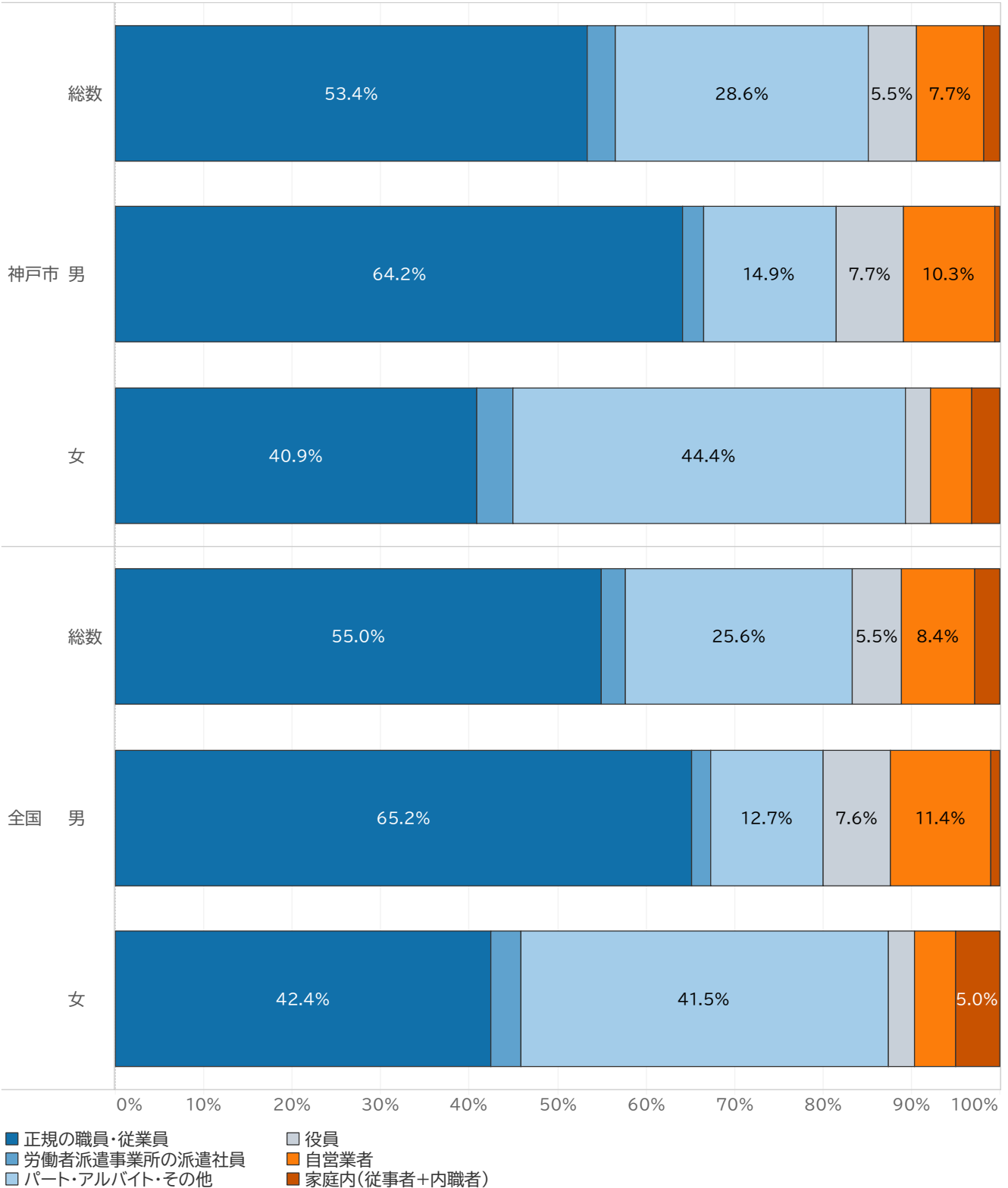
就業状態等基本集計

(1)概況 (2)大都市 (3)労働力率 (4)行政区別 (5)地位別 (6)産業別 (7)職業別 (8)外国人

男性は「正規の職員・従業員」、女性は「パート・アルバイト・その他」の割合が最も高い

神戸市の15歳以上就業者を従業上の地位別にみると、男性では「正規の職員・従業員」(64.2%)、次いで「パート・アルバイト・その他」(14.9%)、女性では「パート・アルバイト・その他」(44.4%)、次いで「正規の職員・従業員」(40.9%)の順で割合が高い。

従業上の地位、男女別15歳以上就業者



就業状態等基本集計

(1)概況	(2)大都市	(3)労働力率	(4)行政区別	(5)地位別	(6)産業別	(7)職業別	(8)外国人
-------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	--------

医療,福祉の就業者割合が拡大

神戸市の15歳以上就業者を産業別で見ると,最も拡大しているのは「医療,福祉」(1.3%ポイントの増加),最も縮小しているのは「卸売業、小売業」(1.2%ポイントの減少)。

産業(大分類)別15歳以上就業者の割合の推移



就業状態等基本集計

(1)概況 (2)大都市 (3)労働力率 (4)行政区別 (5)地位別 (6)産業別 (7)職業別 (8)外国人

専門的・技術的職業従事者の割合が拡大

神戸市の15歳以上就業者を職業大分類別にみると、最も多いのは「事務従事者」（22.0%）で、次に「専門的・技術的職業従事者」（21.3%）となっている。

職業(大分類)別15歳以上就業者の割合の推移



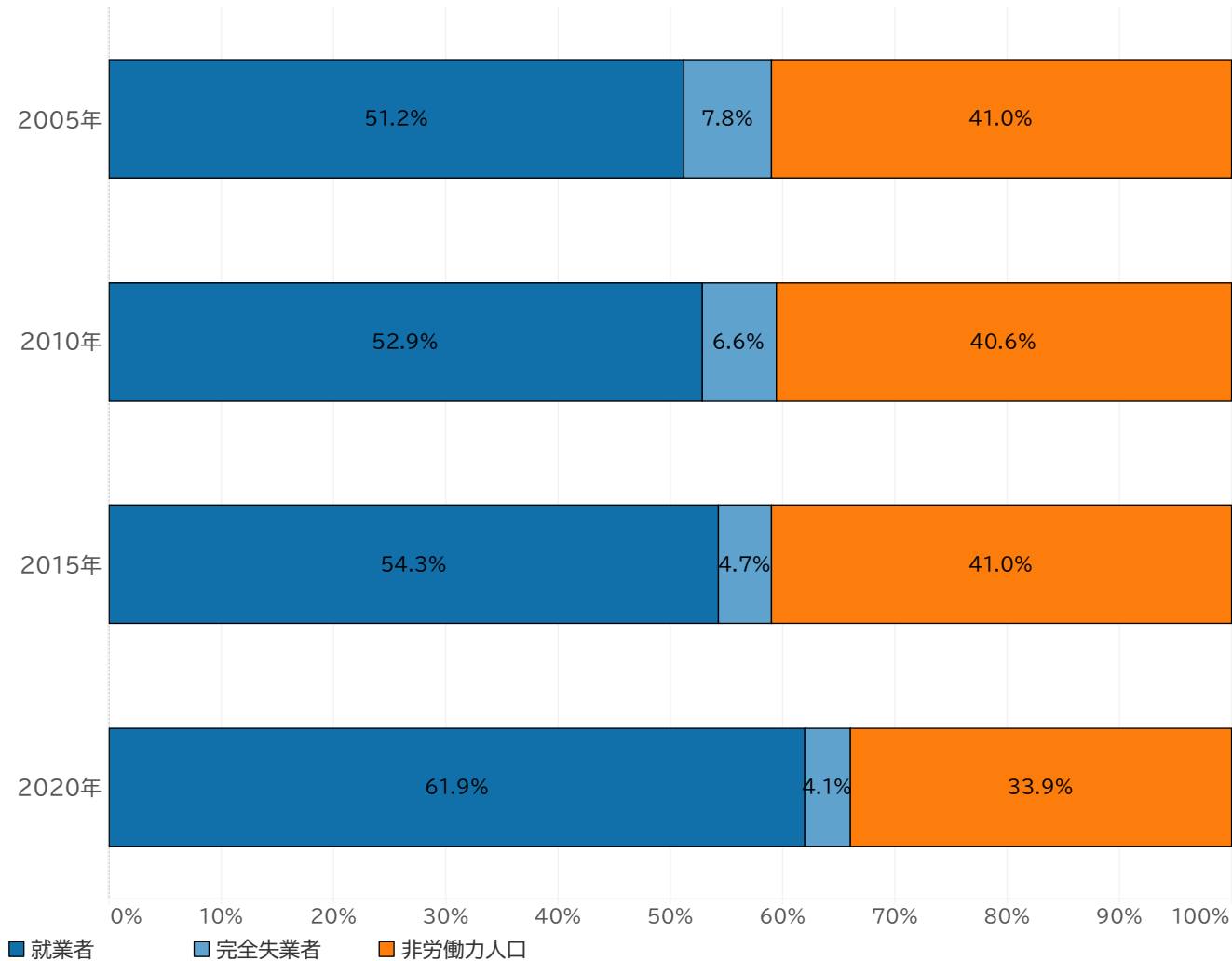
就業状態等基本集計

(1)概況 (2)大都市 (3)労働力率 (4)行政区別 (5)地位別 (6)産業別 (7)職業別 (8)外国人

外国人就業者率は横ばいで推移

外国人就業者は、神戸市の就業者全体の2.0%台で推移。労働力状態では就業者の割合が年々上昇。

15歳以上外国人の労働力状態



労働力人口に占める外国人比率

